



ながの県リハだより

長野県立総合リハビリテーションセンター



■ 写 真：障がい者支援施設の自動車運転シミュレーターを使った訓練の様子

CONTENTS 2022.4 第15号

【特集】障がい者支援施設のここがおすすめ！

機能訓練／職業訓練／健康管理／模擬会社「ふるさと社」での支援／就労支援 2・3

【質問にお答えします！】

補装具費支給制度 4

動画で学ぶ高次脳機能障害 6

ホームページのブログを日々更新 6

【報 告】

頸髄損傷者の車への移乗動作についての動画を制作 5

リハビリバンドがクリスマスコンサートを開催 5

田丸名誉所長が「医療功労賞」を受賞 6

【今日の一品】 センターの食事から 7

【職員エッセイ】 私の始まり～多々ある中のひとつ～ 7

【お知らせ】 新しい組織について／外来診療案内 8

※ 「障害」の表記について この広報紙は、長野県の「『障害』表記のガイドライン」に沿って表記しています。

「障害」という用語が人の状態を表す場合は、原則として「障がい」と表記し、例外として医学用語等の専門用語や他の機関・団体の名称（固有名詞）等は、「障害」（例：高次脳機能障害）と表記。

特集

障がい者支援施設の

ここがおすすめ！

当施設では、障がい者の自動車運転訓練を行っていますが、今回はこれ以外の訓練・支援の特徴についてご紹介します。

1 機能訓練

障がい者支援施設の機能訓練部門では、理学療法士3名、作業療法士3名で他の専門職とチームを組んで、訓練を行っています。病院での治療とは違って、施設の機能訓練は、動くところをより一層鍛えたり、使い方を練習することで、社会復帰や生活の自立などそれぞれの目標を目指しています。

必要な方には、身体の状態に合わせた自主的なトレーニングメニューを各担当療法士が作成し、退所後もご自身で機能を維持する習慣を身につけられるようにしています。また、スポーツ体験、復職に向けてのトレーニングや



▲施設棟理学療法室

環境整備の助言も行っています。

障がいがあっても、残された機能を維持したり向上させることで、充実した生活が送れるよう支援しています。

2 職業訓練

職業訓練課では、個々の身体状況に応じ、退所後の就労や生活の充実に活かせる技能の習得を目指した訓練を行っています。

パソコンの訓練は、経理事務科と電算事務科で行なっています。【経理事務科】では、主にパソコンに初めて触れる方や初心者の方を対象に、パソコンの基本的な操作技術や知識、Word・Excelの基礎を中心に学んでいただきます。基礎的な力がつくことを大切に、理解度や技能に応じて無理なく進めています。

【電算事務科】では経験者の方を対象に、Word・Excelの応用、PowerPoint、illustrator等を学んでいただきます。利用者の方の個々の意欲や興味に応じた内容で進めており、希望があればコンピュータサービス技能評価試験（CS検定）の受検もできます。

【能力開発科】では、



▲能力開発科での片手動作訓練

ループマット、ペーパーブロック等の手工芸作品の製作を行っています。一定時間、集中して手作業に取り組むことは作業耐久性の向上に役立っています。

5 就労支援

障がい者支援施設では、障がいを持ったことでそれまで通りに働けなくなった方に対し就労支援を行っています。復職を目指す方に対しては、その方に合った業務や働き方を会社側と調整し、復職後の支援体制を整える支援を行っています。また、新規就労を目指す方に対し

3 健康管理

健康管理室には、医療依存度の高い方へ対応するため、8名の看護師が配置されており、利用者の方が心身ともに良い健康状態を維持、増進できるように支援しています。また、ご自身の健康管理のために必要な知識や方法を身につけ、退後の生活が充実して送れるように、共に考え活動しています。

看護師は24時間で勤務していますので、体調不良や緊急時には、医師に連絡をとり対応することができます。



▲健康チェックの様子

4 模擬会社 「ふるさと社」での支援

当施設では、障害者総合支援法に基づき、高次脳機能障害者の社会復帰支援を行っています。県内唯一の模擬会社「ふるさと社」での活動を通して、記憶、注意、作業遂行機能、社会的行動障害などに対する訓練を実施しています。

ここでは、模擬会社活動を通して自分自身と向き合い、高次脳機能障害に対する気づき＝「自己認識」を深め、対処方法や補完方法を獲得するための訓練を行います。



▲ふるさと社ミーティングの様子



▲ワークサンプル訓練の様子

また、時間に沿って集団の中で適切な行動が取れるように練習するなど、様々な活動を通して社会参加の可能性を検討していきます。

「ふるさと社」の活動として、個別訓練と集団活動を実施しています。午前は、作業療法士や訓練指導員が個別に訓練を担当します。午後は、生活支援員、言語聴覚士、心理職、作業療法士、訓練指導専門員が曜日別で集団活動を担当しています。このように多職種による様々な活動を通して、スケジュール帳やメモの使用などの補完手段の活用方法を練習したり、対人スキルを学習する機会を提供しています。

最近では、復職や新規就労を目指す方に対して、障害者職業センターで開発された「ワークサンプル幕張版」を導入して、様々な作業を体験したり、職業生活に必要なスキルを獲得するための訓練を実施しています。

では、その方に合った働き方の提案を行ったり、ハローワークや就職説明会へ同行する支援を行っています。

日頃の機能訓練や就労に耐え得る体力や技能を身につける職業訓練に加え、OTの「就労準備グループ」では、障がいを持って働くための学習を行っています。また、各職種で構成される「就労支援チーム」でその方に合った就労について様々な視点で検討し、就労支援を行う際に活かしています。

施設への入所・通所の利用については、

「地域連携課」に

お気軽にお問い合わせください。

TEL: 026-296-3953 (代表)

補装具費支給制度について



Q. 「補装具」とはなんですか？

A. 「障がい者が日々の生活の中で必要な移動等の確保や、働くために必要な補助をする等、**お身体の代わりをする用具**」とされています。その用具に必要な費用の一部若しくは全額を公費で負担し、購入できる制度です。補装具には様々な種目がありますが、車椅子、義手等が利用されています。



Q. どのような方が対象になりますか？

A. 対象者は「補装具を必要とする障害者、障害児、難病患者等」とされていますが、具体的には「**身体障害者手帳を所持している**」又は「**指定難病である**」ことが必要です。

なお、世帯人員に市町村民税所得割の納税額が46万円以上の方がいる場合は、公費負担の対象外となりますので、市町村の障害福祉担当課にてご確認ください。

Q. どのように利用したらよいですか？

A. 申請窓口は、お住いの市町村の障害福祉担当課になります。いくつか必要な書類がありますので、書類や手続きについてお問合せください。

補装具は、「医学的に必要である」ことを根拠として支給されますので、ほとんどの場合、「**医師の作成する意見書**」が必要となります。



Q. この制度を知らなくて先に購入しましたが、制度を利用できますか？

A. 補装具は市町村からの支給決定が無ければ、支給を受けることができません。事前に購入したものは対象外ですので、必ず**購入又は製作する前に市町村に相談**してください。また、公費による支給であるため、「**あれば便利だから**」、「**欲しいから**」という理由では認められません。必ず「意見書」による医学的な根拠が必要となります。



Q. 補装具が購入できるまで、期間はどのくらいかかりますか？

A. 提出書類が問題無ければ、申請から概ね2週間～1か月程度で支給の可否が分かりますが、再調査等により内容の確認をする場合、それ以上かかる場合もあります。

また、申請する補装具が、「義肢（義手、義足）」、「電動車椅子」、「座位保持装置」の場合、来所判定又は巡回相談による「**直接判定**」が必要となりますので、通常より長くお時間をいただくことがあります。



直接判定の様子

補装具費支給制度のご不明の点については、市町村の障害福祉担当課又は「更生相談室」へお問い合わせください。なお、当センター病院をご利用中の方は、「地域医療福祉連携室」へお問い合わせください。

更生相談室 身体障害者福祉司 高地 麻妃

報告 Report

「C6 頸髄損傷者の車いすと自動車間の 移乗方法」の動画を制作しました！

理学療法科では、人工膝・股関節術後の自宅で行える体操等をホームページとYouTube動画で公開しています。

今回は、C6 頸髄損傷者の車いすから自動車、および自動車から車いすへの移乗方法についての動画を制作いたしました。

＜動画の構成＞

- ①C6 頸髄損傷レベルでの「できる動作」と「できない動作」の説明
- ②車椅子から自動車および自動車から車椅子への移乗の実際（理学療法士による実演）
移乗方法のポイントを分かりやすく解説
- ③実際の患者様の移乗の様子

次回は、C6 頸髄損傷者の自動車への車いす積み込みについて動画を制作する予定です。

リハビリテーション療法部理学療法科

理学療法士 清水 果奈子、宮崎 千章



YouTube動画は、
こちらから



報告 Report

「リハビリバンド」が クリスマスコンサートを開催！



「リハビリバンド」は、センターの医師、看護師、リハビリ関係職員等の職員有志からなる音楽バンドです。毎年入院患者さんや施設利用者さんに向けたコンサートを開催してきました。しかし、2019年10月の台風19号による千曲川の氾濫のための浸水被害、そして新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、コンサートが開催できない状況が続いていました。

昨年12月上旬、感染者数が減少してきたため、2年ぶりにクリスマスコンサートを開催することが出来ました。

会場では、演奏者と観客の間にビニールシートを張りめぐらし、観客同士の距離を十分取るなど、感染予防対策を講じて実施しました。クリスマスイブ（山下達郎）、見上げてごらん夜の星を（坂本九）などを演奏し、入院患者、利用者の皆さんに、いい笑顔で楽しんでいただきました。

YouTube動画は、
こちらから



田丸名誉所長が「医療功労賞」を受賞しました！

田丸名誉所長が、読売新聞社主催の令和3年度（第50回）「医療功労賞」を障がい者福祉の分野で受賞しました。

専門分野が脳神経内科で、当センター勤務開始当初から高次脳機能障害の治療、リハビリに先進的に取り組んできました。

2004年に当センターは長野県内の高次脳機能障害支援拠点機関としての指定を受け、名誉所長は県内で指定された3つの医療機関との全県における支援体制の構築にも尽力されました。



動画で学ぶ高次脳機能障害

長野県内には、高次脳機能障害の方が適切な支援を受けられるように、高次脳機能障害支援拠点病院が4か所あります。東信地域は佐久総合病院、中信地域は桔梗ヶ原病院、南信地域は健和会病院、そして、北信地域は当センターが指定を受けています。

拠点病院では、毎年、高次脳機能障害に関する研修会を行っています。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、皆さんに集まっていたく研修会に代わり、高次脳機能障害についての動画を作成しました。

動画は以下の4本から構成されており、YouTubeで公開しました。

①桔梗ヶ原病院作成

「これってもしかして高次脳機能障害？」

(約8分)

②佐久総合病院作成

「適切な診断と支援～どんな症状？どんな対応？」

(約8分)

③当センター作成

「就労に向けての支援」（「ふるさと社」での訓練）

(約15分)

④健和会病院作成

「障がいがあっても働ける～就労者インタビュー」

(約20分)

動画配信としたことで、病院や施設での支援や、当事者の方の思いを多くの方にお届けすることができました。

①～③は、引き続き皆様にご覧いただけるように準備しています。掲載方法などが決まりましたら、当センターホームページでご案内します。

高次脳機能障害の 支援の流れ

就労に向けての支援



当センター作成の動画オープニング

ホームページのブログを日々更新しています

令和3年4月にリニューアルした当センターのホームページで、新たにブログを始めています。現場職員が書いたブログを通して、当センターの活動、特長、魅力等をお伝えしています。

センターの各部署で分担し、月に数回更新して、当

センターのホットな情報をお伝えしていますので、是非ご覧ください。

長野県リハ ブログ

Q 検索



今日の一品
センターの
食事から

春が旬の新ごぼうとウドには、食物繊維が多く含まれています。食物繊維には、おなかの調子をととのえたり、血糖値の上昇をゆるやかにするなどの多くの働きがあります。

旬の食材の風味と食感を味わいながら、食物繊維を積極的にとることが出来る副菜です。



洋風きんぴら

..... 材料 (2人分)

ごぼう 40g
うど 40g
ピーマン 30g
赤パプリカ ... 30g
ベーコン 20g
サラダ油...小さじ2(8g)

A { しょうゆ...小さじ1(6g)
みりん小さじ1(6g)
砂糖小さじ1弱(2g)
酒小さじ2(10g)
塩 1g
こしょう...少々



Point

- ★ごぼうは市販の切ごぼうを使っても上手にできます。
- ★ベーコンの代わりに豚肉や鶏肉、牛肉のこま切れを使っても美味しく作れます。
- ★多めに作り、常備菜として活用しても良いです。

..... 作り方

- ①ごぼうは、さがきにしてお水にさらし、水気を切る。ウドは外皮をむき、短冊に切る。ピーマン、赤パプリカは細切り、ベーコンは短冊切りにする。
- ②フライパンに油を熱してごぼうを炒め、ウド、ピーマン、赤パプリカ、ベーコンを加えて炒め合わせ、一度火を消す。
- ③Aを加えて混ぜ、中火にかけて汁気がなくなるまで炒める。

(1人分栄養量)

エネルギー	121Kcal
たんぱく質	2.4g
脂質	7.9g
食塩相当量	1.1g



Essay of the staff

職員エッセイ

「私の始まり～多々ある中のひとつ～」

看護師 柄澤 秀代

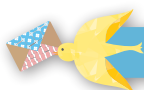
私は東京の病院の付属学校で看護を学びました。整形外科病棟での看護実習で、私は頸髄損傷のHさんを受け持つことになりました。上野公園の西郷隆盛さんのような容姿で、大きな方でした。車椅子での生活で、体が大きいのでリフターによる移動、お風呂はバード浴、特殊スプーンでの掻き込むような食事スタイルの方でした。できることは何でもご自分でやってもらいました。手指にも障がいがありましたが、細かいピースのジグソーパズルなどお手の物でしたし、粘土で作った花瓶や湯飲みなどの陶磁器はすばらしいものでした。

看護学校を卒業後、整形外科病棟に配属になり、またHさんと縁がありました。私は東京で何年暮らしても長野まるだし(?)だったので、隣県新潟出身のHさんとは気が合い、声をかけてもらったり教えてもらったりの毎日でした。

3年間の勤務後、私は長野に戻ることにになり、当センターに就職しました。他にも病院があった中この病院を選んだのは、脊髄損傷の方々のリハビリに惹かれたからです。Hさんの限られた範囲での生活を思うと、もしこのセンターに来ていたらもっと違った生活があったのではないかと考えました。脊髄損傷の方の看護・リハをやりたいという思いが強かったのは、Hさんとの出会いが大きかったと思います。

長く働いていると良いことも悪いこともあります。嫌なことがあり、もう看護師をやめたいと思うときがありますが、そのHさんを思い出し“もうちょっと頑張るか”という気持ちになります。そして今の私に続いています。





お知らせ

\\「地域連携課」\\が設置されました

この4月、組織改正により「地域医療福祉連携室」が「地域連携課」となりました。

同課において、引き続き医療機関からの転院・入院等の相談、入院患者及び外来患者の医療福祉に係る相談、当センター障がい者支援施設の利用（入所、通所）に係る相談、入所者の計画相談支援等を担当しますので、お気軽にご相談ください。◆電話：026-296-3953（代表）◆FAX：026-296-3943



外来診療案内

令和4年4月現在

担当医師	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
脳神経内科・内科										
田丸 冬彦	○				○			○		
森田 有紀							○			
整形外科										
外関 科節	清野 良文	○		○			○			
脊椎 外科	立岩 裕	○			○					
	木下 久敏				○ 月2回					
麻酔科										
笠間 進		○							○	
泌尿器科										
井川 靖彦										○ 月2回

※諸事情により、担当医師が変更・休診となる場合がございますので、ご了承ください。

診療時間

午前 9:00 ~ 12:00
午後 1:00 ~ 4:00

- ◎外来診療は、予約制としています。予め電話で予約をお願いします。
なお、脳神経内科・内科及び麻酔科の受診については、事前にご相談ください。
- ◎紹介状が無くても受診できます。
- ◎清野医師の外来日に褥瘡外来を実施します。事前にご相談ください。



電話による予約受付時間	月曜日～金曜日：午後1時～午後4時
連絡先	☎026-296-3953〈代表〉
備考	土・日・祝祭日は、予約受付を行っていません。

発行：長野県立総合リハビリテーションセンター
編集：広報委員会
住所：長野市下駒沢618-1
TEL：026-296-3953 FAX：026-296-3943
URL：https://www.nagano-reha.pref.nagano.lg.jp

